



世界から名取へ  
名取から世界へ



9月6日(水)お別れの朝に。  
短いホームステイ期間でしたが、こんなに仲良しに。  
もうお別れなのが本当に残念です...

中学生海外派遣事業の交流先であるマウントウエイバリー・セカンダリーカレッジ(オーストラリア、ビクトリア州)から、二十三人の生徒と三人の教諭が九月二日(土)〜六日(水)まで名取市を訪れました。  
二〇〇六年は「日豪交流年」。この記念すべき年に名取市を訪問した彼らは、市内のご家庭で四泊五日のホームステイを体験し、ホストファミリーとの交流を深めました。

特 集

## マウントウエイバリー・セカンダリーカレッジ訪問団 名取市へようこそ!

市内でのホームステイ  
九月二日(土)、オーストラリア、ビクトリア州モナッシュ市にある「マウントウエイバリー・セカンダリーカレッジ」から、二十三人の生徒たちと三人の随行の先生方が名取市を訪問しました。  
マウントウエイバリー校は二年に一度「ジャパン・スタディ・ツアー」を実施しており、大阪にある姉妹校でのホームステイを含めて、約三週間の日程で日本を訪問しています。  
今回、名取市は日本にきて最初の訪問地、ということもあり、マウントウエイ

バリー校の生徒たちにとっても、新鮮な驚きと喜び満ちたホームステイとなりました。  
九月六日(水)の朝にはホストファミリーとお別れし、次の目的地である東京へと旅立った彼らでしたが、名取市を出るときにはホストファミリーとお別れ、涙を流しながらのお別れとなりました。  
彼らを受け入れたホストファミリーの皆さんにとっても、家庭での異文化体験は充実したものであったようです。  
言葉が通じなかったり、なかなか話題が盛り上がり



9月3日(月)市長室で佐々木市長と記念撮影。



### 韓国から名取へ 韓国・仁荷工業専門大学の学生が市長を表敬訪問

宮城工業高等専門学校と学术交流協定を締結している韓国・仁荷工業専門大学から9名の学生と引率教員が、7月4日(火)市長室を表敬訪問。  
仁荷工業専門大学の学生たちは、7月3日(月)~7日(金)の日程で宮城高専を訪問。宮城高専の学生と交流、授業見学のほか、企業や文化施設などの見学を行いました。



### 名取から南極へ 若生 公郎さん(相互台)

第48次南極地域観測隊として、南極・昭和基地に派遣される若生 公郎さんが、9月21日(木)市長室を訪問しました。  
趣味のアマチュア無線を通して世界に目を向ける機会が多かった若生さんは、環境問題などにも興味をお持ちで、環境問題の解決には南極における地球環境の観測が重要と考え、「それを自分の目で確かめてみたい」という思いから今回の観測隊に参加することを決意したそうです。  
若生さんは12月20日ごろ昭和基地に到着予定。現地での活躍が期待されます。

### じょうほう 掲示板

今号もなとり国際交流ニュースレターをお読みいただきありがとうございました。  
今回は9月上旬に名取市を訪問したマウントウエイバリー・セカンダリーカレッジの話題をお届けしましたがいかがでしたでしょうか。  
このニュースレターでは海外での交流体験だけでなく、市内で国際交流や多文化共生に関わっている方の活動や、名取にお住まいの外国人の方を紹介するなど、私たちの身近な話題も取り上げていきたいと考えています。  
ぜひ皆様の身近な方たちの情報をお寄せください。名取市の国際交流に関するご要望もお待ちしております。  
【情報はこちらへ】〒981 1292(住所記入不要)  
名取市総務部総務課広報広聴係  
電話 384-2111 内線 317 FAX384-9030  
Eメール: soumu@city.natori.miyagi.jp



9月3日(月)松島でこけしの絵付け体験をしたマウントウエイバリー校訪問団のようす。



# 名取市国際交流実行委員会 絵画コンクール

## オーストラリアをテーマに個性あふれる作品たち

「名取市中学生海外派遣事業」を主催する名取市国際交流実行委員会が、名取市内に在住する小中学生を対象に、オーストラリアをテーマにした絵画コンクールを実施しました。

応募総数は97作品で、どれもオーストラリアの自然や文化、日本との交流などが良く表現された作品ばかりでした。

9月2日(土)には来市したマウントウエイバリー校訪問団の投票による「マウントウエイバリー・セカンダリーカレッジ賞」と、実行委員会

委員の選考による「名取市国際交流実行委員会賞」の入賞作品が次のとおり選ばれました。

マウントウエイバリー校訪問団の皆さんからは「オーストラリアをイメージして、いろいろなアイデアの入った作品を見せていただきとても感激しました。どれもすばらしく選ぶのが大変でした。これからもオーストラリアに興味を持って、素敵な作品を作ってくださいと思います。」とのコメントが寄せられています。



9月2日(土)歓迎式で初対面。ここからホームステイが始まります。

「英語がでなく、和食を食べられなかったり、和食を食べられなかったり、和食を食べられなかったり...」  
 そのような苦勞をしながらも次第に気持ち通じていったようで、訪問団が名取市を出発した後に実施した、ホストファミリーアンケートの回答に次のような感想がありました。  
 「英語がでなく、和食を食べられなかったり、和食を食べられなかったり...」  
 そのような苦勞をしながらも次第に気持ち通じていったようで、訪問団が名取市を出発した後に実施した、ホストファミリーアンケートの回答に次のような感想がありました。

「英語がでなく、和食を食べられなかったり、和食を食べられなかったり...」  
 そのような苦勞をしながらも次第に気持ち通じていったようで、訪問団が名取市を出発した後に実施した、ホストファミリーアンケートの回答に次のような感想がありました。  
 「英語がでなく、和食を食べられなかったり、和食を食べられなかったり...」  
 そのような苦勞をしながらも次第に気持ち通じていったようで、訪問団が名取市を出発した後に実施した、ホストファミリーアンケートの回答に次のような感想がありました。

### 【マウントウエイバリー・セカンダリーカレッジ賞】



増田西小学校 6年 山岸 愛さん



山岸さんにはマウントウエイバリー・セカンダリーカレッジから、賞としてトロフィー(カンガルーの置物)とオーストラリアの動物の写真集が贈られました。

入賞作品を選ぶマウントウエイバリー校の生徒たち。

#### 受賞のことは

「長い期間をかけて描いた絵でしたが、まさか選ばれるとは思いませんでした。すばらしい賞をいただき、うれしいです。マウントウエイバリー校の皆さんには、私の絵を選んでいただきありがとうございます。」



### 【名取市国際交流実行委員会賞】



小学校低学年の部  
那智が丘小学校 3年  
長澤 唯さん



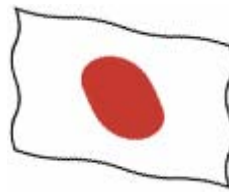
小学校高学年の部  
増田小学校 6年  
内山 ゆきのさん



中学校の部  
みどり台中学校 1年  
西浦 和孝さん



9月3日(日) 休日に「ずんだもち」を食べるマウントウエイバリー校の先生たち。島先生にとっても初めての味でしたが「おいしい!!」と好評でした。



「無いらしいです。ほかに日記の宿題もあつたのですが、島先生は日記帳に「今日覚えた新しい言葉」という項目を付け足し、生徒が日本で覚えた言葉を書いてもらっていました。いったいどのような言葉を生徒たちが覚えたのか、少し教えてもらいました。」  
**【生徒たちが日本で覚えた言葉】**  
 「いつてきます」「ただいま」「いらつしやいませ」「たくさん」「ねむいね」「だいじょうぶ」「いただきます」「ごちそうさまでした」「おなかへこべこべ」「おなかいいっぱい」「あつちむいてほい(ゲームモマスタ)して、電車の中で遊んでいたそうです」「ちよつと、ちよつと、ちよつと(最近人気のお笑いコンビのギャグ)」。  
 島先生はマウントウエイバリー校で日本語を教える約三年になります。日本語の授業では言語を教えるだけではなく、日本の文化や風習についても説明する必要がありますので、ピデオやイラストなど、生徒が興味を持つような、分かりやすい素材を探して授業に生かしているのだそうです。  
 そんな島先生の姿を見て、「私も将来、日本語の先生になりたい」という目標を持ったホストファミリーデントも何人かいたようです。  
 マウントウエイバリー校の生徒にとつてだけではなく、名取市のホストファミリーにとつても良い経験になったホームステイだったのでないでしょうか。



9月4日(月)各学区の中学校を訪問。授業に参加し中学生たちと交流しました。